

大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

日 時	2015年11月26日(木)	
	15:30~16:30 ポスター展示(自由見学) *15:30~ Coffee Hour	16:30~18:00 ポスターセッション(発表者全員参加) *17:00~ Light Meal
共 催	中央大学大学院理工学研究科・中央大学理工学研究所	
場 所	中央大学後楽園キャンパス 3号館 10階 大会議室(31008号室)	
発表方法	ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。	
参 加	参加無料。ご自由にお入りください。	
問合せ先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678/FAX(03)3817-1677	

◇17:00ご挨拶 ◆理工学研究所長 鎌倉 稔成 ◆研究開発機構長 築山 修治	◇18:00 ご挨拶 ◆理工学研究科委員長 石井 靖
---	-------------------------------

専攻	RA氏名	『研究テーマ』	研究代表者
数学	1 谷口 晃一	非有界領域における分散型方程式の時空評価式	松山登喜夫
	2 山本 健人	3進体上の対角的3次元曲面のゼロサイクルのなす Chow 群について	佐藤 周友
	3 堀内 智広	楕円曲線及び小平曲線のモジュライ空間について	三松 佳彦
	4 保科 架風	L1 正則化法におけるベイズモデルに基づくモデル選択	小西 貞則
都市環境学	5 凌 国明	津波の2次元・3次元ハイブリット解法の構築とその可視化研究	櫻山 和男
	6 立山 政樹	洪水流河床変動解析法の実河川への適用と局所的な河床勾配を考慮した解析の改良	
	7 丁 青	前凝集-膜ろ過を中心としたハイブリッド浄水膜ろ過システムの確立	齋藤 邦夫
	8 成 岱蔚	可能最大降雨に対応できるリスクマネジメントと土木計画手法の確立を目指した基礎的研究	
	9 李 聰睿	都市河川における植物プランクトンの変動予測に関する研究	
	10 王 昭雯	A Study on the Risk of Levee Destruction by the Change of River Water Level during Flood	山田 正
	11 吉見 和紘	可能最大降雨に対応できるリスクマネジメントと土木計画手法の確立を目指した基礎的研究	
土木工学	12 佐々木 翔太	水文学的集中化法と確率微分方程式を用いた内部線量の確率密度関数の導出	
精密工学	13 和 好	自動車車室内における機能性音環境創造に関する研究-振動環境および音環境を考慮した乗り心地の把握	戸井 武司
	14 石川 敏也	巻フィルムチューブ式 SMA 人工筋肉アクチュエータの開発	中村 太郎
	15 宋 小奇	構成刃先現象における凝着層の生成、脱落機構	井原 透
電気電子情報通信工学	16 長坂 崇史	規範形状を持つ2次元物体のレーダ断面積に関する研究	小林 一哉
応用化学	17 仲村 太智	Synthesis and Structure of Aluminabenzene-Zirconium Complexes	山下 誠
	18 浅見 俊介	Synthesis and Properties of diboryldiphosphene and diboryldiphosphene radical anion	
	19 町田 亮	Laser Ablation-ICPMS を用いた電子材料中の超微量元素分析手法の開発	古田 直紀
経営システム工学	20 秋元 良友	方向データの統計解析と災害データのモデリング	鎌倉 稔成
	21 阿部 興	不完全データの点過程モデリング	
	22 高橋 直己	感性の高度なモデル化とその応用(知覚感性の高精度なモデル化および相互理解支援技術研究)	加藤 俊一
	23 村上 昌志	感性の高度なモデル化とその応用(多感覚情報に対する知覚感性のモデル化技術の研究)	
情報工学	24 謝 華	仮想現実感、拡張現実感を利用した情報可視化システム	牧野 光則
情報セキュリティ科学	25 チュ バ ヒエン	広帯域 Antipodal 型 Vivaldi アンテナの解析と設計に関する研究	
	26 鄭 子才	大地の影響を考慮した車載アンテナの放射指向性の解析についての研究	白井 宏
	27 スエン スゴック アン	High frequency dielectric property characterization of liquids and wet materials	
	28 藤田 佳祐	電気的小型アンテナの共振放射特性の解析についての研究	

RA(リサーチ・アシスタント)制度は、中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。理工学研究所・研究開発機構研究発表会と同時に開催し、後楽園キャンパスでの研究成果を一同に会した発表の場となります。お気軽に会場までお越し下さい。